

LEDセンサーライト防犯カメラ 8W×2灯

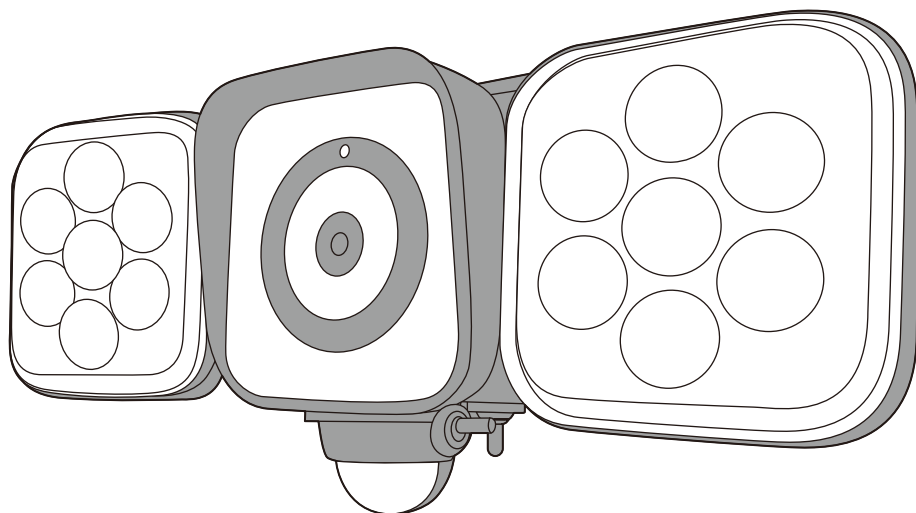
取扱説明書

保証書

この度は、**RITEX LEDセンサーライト防犯カメラ 8W×2灯**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書は、お読みになった後も大切に保管してください。








1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。
 注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

免責事項

- 本機で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
- お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。
- お客様および第三者の故意または過失と認められる本機の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本機の設置によってほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本機以外についての修理費等は一切保障いたしません。
- 本機は本格的な防犯機器ではありません。強盗・盗難などの被害における責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 金融機器、医療機器や人命に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 本機の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。
- 本機の故障・誤作動・不具合、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

- いかなる場合においても、弊社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
また、商品改良のためバージョンアップ等により、仕様・性能や外観が、予告なしに変更することがあります。
- 本機及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。
- 修理依頼された場合、輸送や修理過程においてやむをえずSDカード内の記録内容が失われたり、故障状態によってはSDカードの初期化や、交換が必要な場合があります。
あらかじめご了承ください。
- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

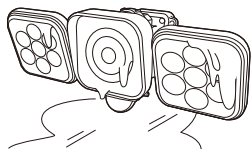
⚠ 警告

ご使用や設置について

本体は大量の水がかかる場所に
設置しない



禁止

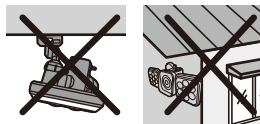


通常の雨、風には耐えますが、水の直接噴流には耐えられません。※本機は、保護等級IP44のセンサーライトです。

屋内・屋外に関係なく斜め向き、下向き、逆さまに取り付けない



禁止

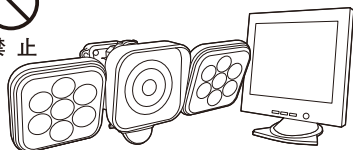


故障の原因になります。

家電製品の近くで使わない



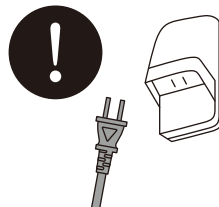
禁止



テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。
故障、誤動作の原因になります。
本機または他製品の故障・誤動作の原因になります。

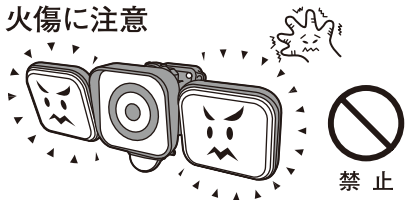
電源はコンセントから取る

- ・電源は家庭用100V専用です。
- ・屋外のコンセントは防雨型を使用してください。
- ・電源と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取付けてください。



※漏電、停電後等の再調節で電源を切る必要があるためです。ただし、電源工事による本機の不具合の責任は負いかねます。

火傷に注意



点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので触れないでください。

点灯中はLEDライト部を直視しない

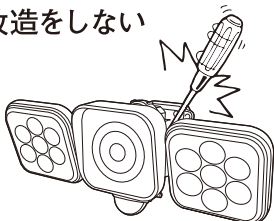


禁止 目を痛めるおそれがあります。

分解や改造をしない



分解禁止



修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。火災、感電、故障の原因になります。

燃えやすい物の近くに取付けない



禁止



布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けないでください。昼でも本体に物（布団や布等）を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。火災の原因になります。

埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光が入るところでは、使用を避ける

レンズ外側の汚れや強い光により、映像が鮮明でなくなる場合があります。



禁止

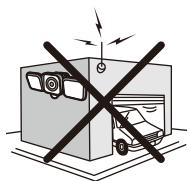
⚠ 注意

ご使用や設置について

電波を出す器具の近くに取付けない



禁止



- ・テレビやラジオなどの音響・映像機器の近くに設置すると、画像や音声などが乱れることがあります。
- ・本機を車庫に取付けた場合、設置位置によっては電動シャッターのリモコンや車のキーレス・スマートキーが、反応しない場合があります。その場合は、4m以上離して再設置してください。また、各無線機器の取扱説明書をお読みのうえ、ご使用ください。

モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない



禁止

故障の原因になります。

SDカードについて

本機は、4～32GBまでのSDHCカードに対応しております。スピードクラスは、「CLASS 10」以上を推奨しております。マルチメディア（MMC）カードには、対応していません。



禁止

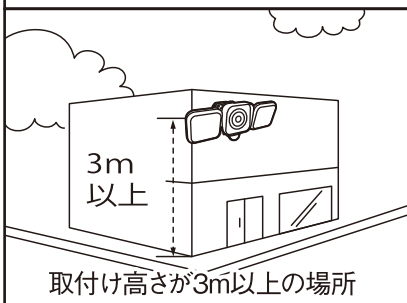
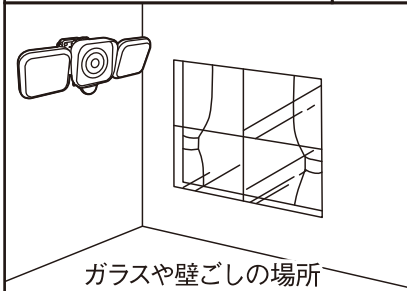
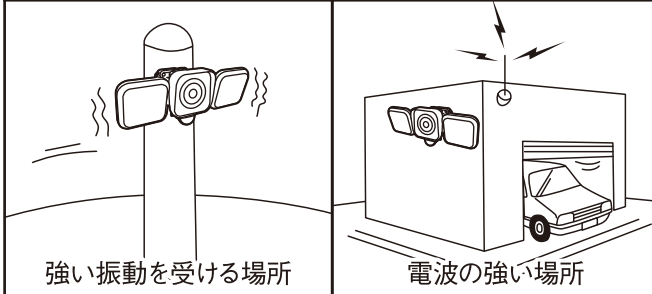
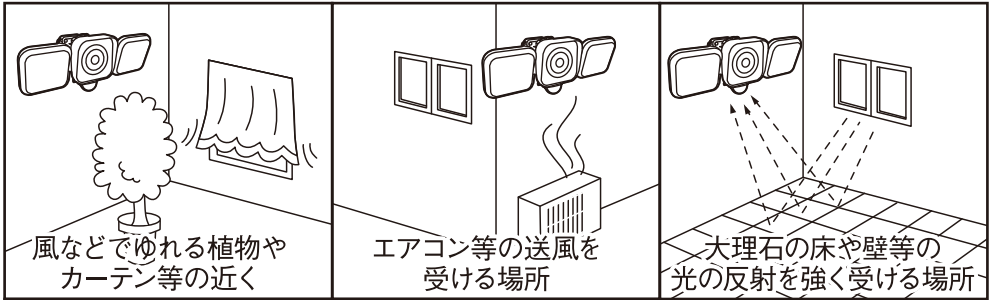
日付設定について

日付設定を行うには、パソコンまたはスマートフォン・タブレットが必要です。詳細な設定方法については、「10.録画日時の設定」を参照してください。



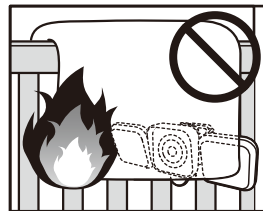
2. 取付け前の注意

■ センサーは、周囲の明るさと温度変化を感知するので、図のような場所に取り付けると、誤動作や作動しないときがあります。



警告

昼夜問わず、センサーライトを布団や洗濯物などが覆うと、センサーが反応しっぱなしになり引火する恐れがあります。可燃物との距離を十分に確保してください。



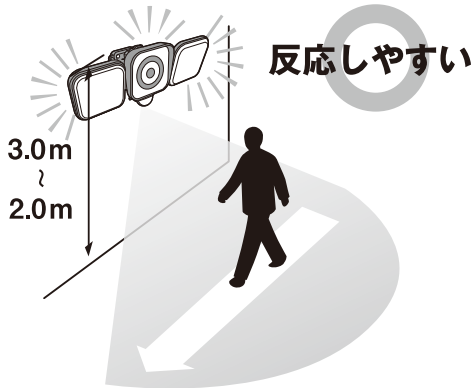
フェンス

3. センサーの探知の注意

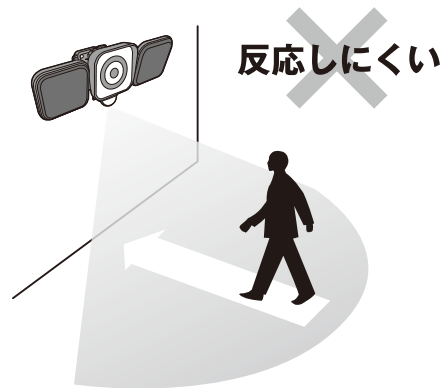
■ センサーは、最遠約前方8m/左右約140°の範囲で人を探知しますが、取付け高さや環境でセンサー探知範囲が変化します。

① まず仮設置して動作を確認してください。

横の移動

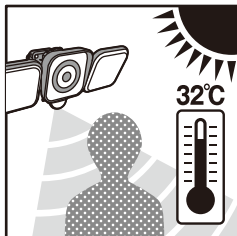


センサーに向かう移動



- ・ 取付け高さは2.5mが最適です。
- ・ 取付け高さは最高3mまでです。
- ・ 取付け高さを半分になると探知範囲は半分になります。

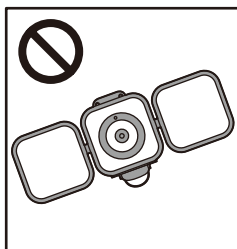
② 夏はセンサーの感度が鈍くなります。



センサーは人を熱として探知するため、体温と気温の差が減少する夏は反応が極端に鈍くなります。

センサーの特性によるもので故障ではありません。

③ 本体が左右に傾いているとセンサーが誤作動します。



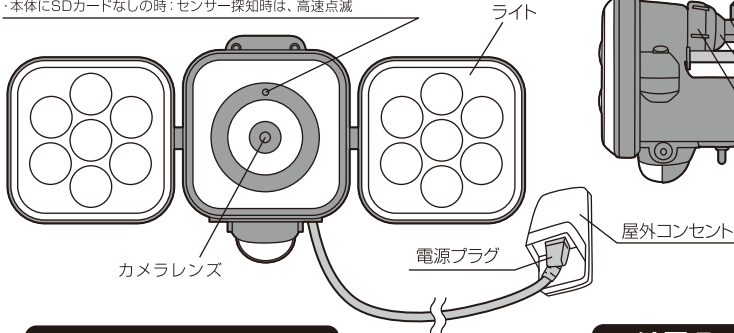
本体は正面から見て地面と水平になるように調整してください。センサーが探知したい方向に向かない恐れがあります。

4. 部位説明

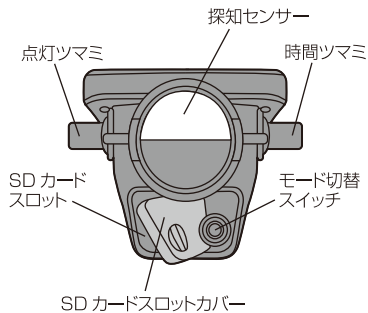
本体

状態表示用赤ランプ

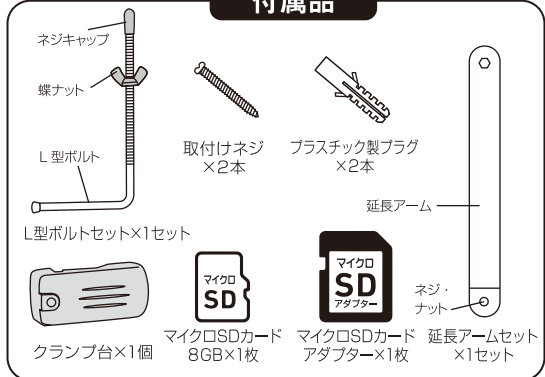
- ・待機時は常時点灯
- ・本体にSDカードありの時：センサー探知（録画）時は、1秒に1回点滅
- ・本体にSDカードなしの時：センサー探知時は、高速点滅



本体底部



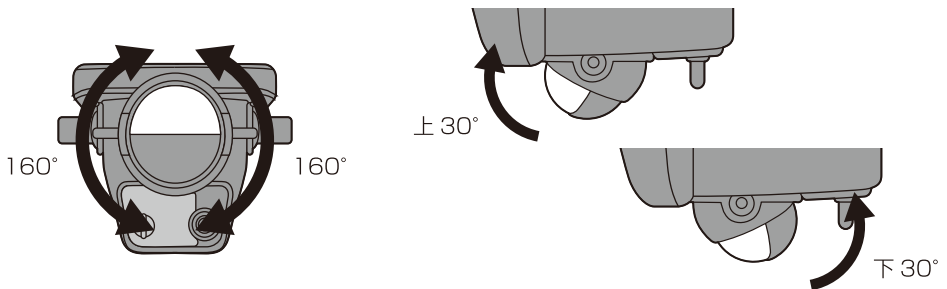
付属品



5. センサーの向きの調整

・左160° 右160° 回転します。

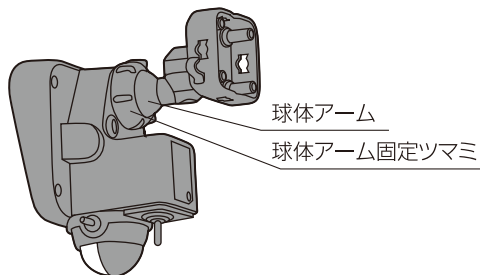
・上30° 下30° 回転します。



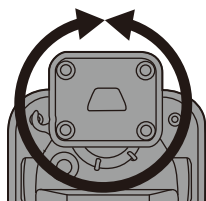
6. 本体の向き調整

■ 本体全体をお好みの方向に向けます。

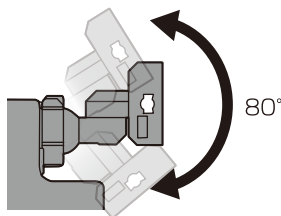
- ① 球体アームの角度調整は球体アーム固定つまみを手で少し緩め本体を向きたい方向に向け、締めて固定します。



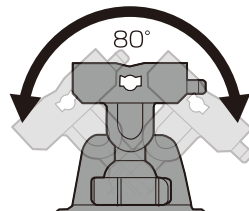
・360° 回転します。



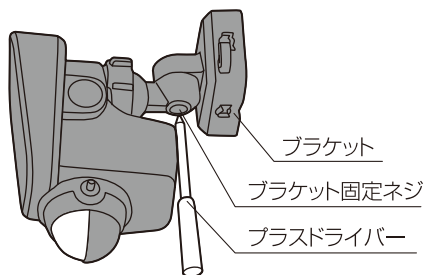
・約80° 回転します。



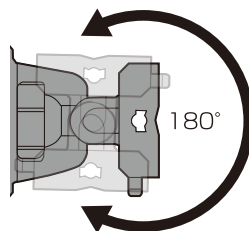
・約80° 回転します。



- ② ブラケットの角度調整はブラケット固定ネジをプラスドライバーで少し緩め本体を向きたい方向に向け、締めて固定します。



・約180° 回転します。

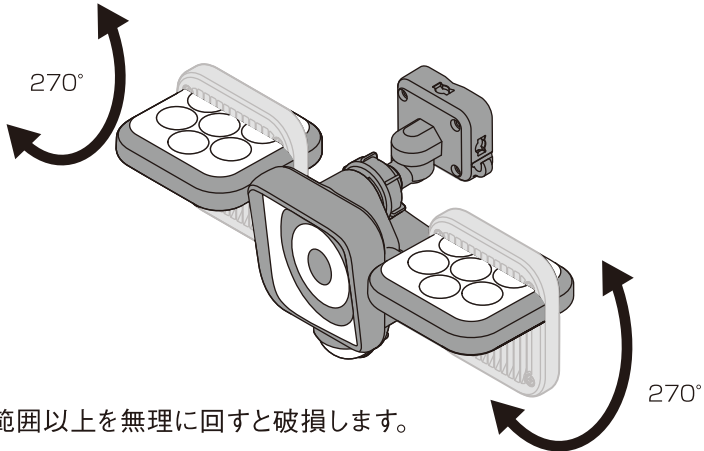


※ 球体アームの角度調整と合わせて調整すれば左右上下自在に調整できます。

7. ライトの上下の向き調整

■左右のライトを照らしたい方向に向けます。

・ライト上90° 下180° 回転します。



8. ライトの横向き調整

■左右のライトを照らしたい方向に向けます。

ライトの向き調整後にプラスドライバーでライト固定ネジを締め固定します。※緩んでいると水が入るおそれがあります。

・左右のライトは後150° 回転します。



※“7. ライトの上下向きの調整”で下180°に回転させると前後の回転が逆になります。

9. センサーの探知範囲とカメラの撮影範囲

■センサーは、最遠約8m×140°の範囲で動く人を探知します。

■カメラは、最遠約6m×65°の範囲を撮影します。(静止画や音声は記録できません。)

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

- ・取付け高さが2.5mの場合の探知範囲です。
- ・取付け高さは最高3mまでです。
- ・取付け高さを半分にすると探知範囲は、図の半分になります。

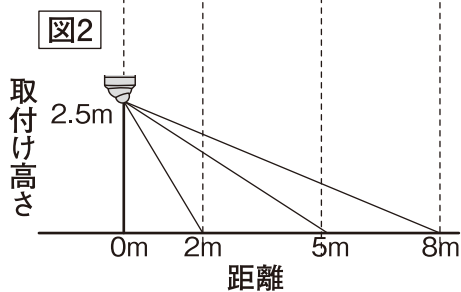
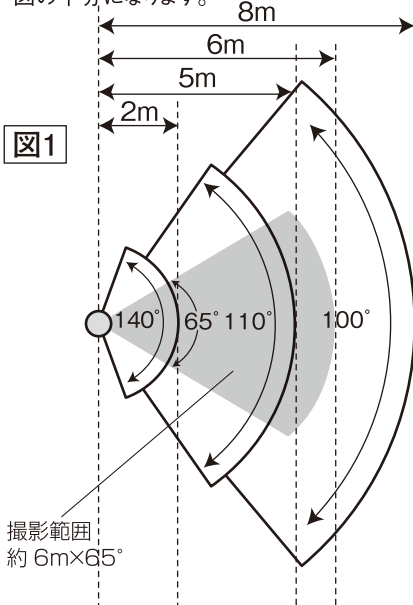


図3 カメラの視野角

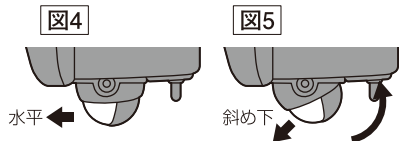
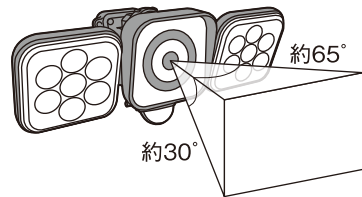
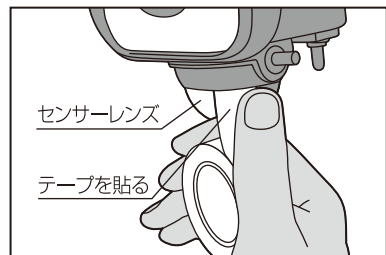


図4:センサー部は水平に向けて使用してください。

図5:センサー探知を短くしたい時は、センサー部を下に回転させて調整してください。

探知範囲の角度を狭くする

- ・探知範囲を狭める場合はセンサーレンズに透明か白色のビニールテープを貼ります。(セロハンテープは薄いので二重に貼ってください)
 - ・上面に貼ると探知距離が短くなります。
 - ・側面に貼ると探知角度が狭くなります。
- ※センサーレンズ内に明かりセンサーも内蔵されていますので色の濃いビニールテープを貼ると夕刻や昼間でも点灯を開始する場合があります。



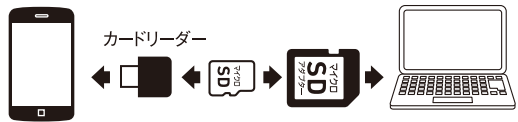
10. 録画日時の設定

⚠ 注意

- ・設定した録画日時は、設定後最初に録画機能が作動したときの開始日時となります。設定した日時と、実際の開始日時の差が大きい場合は、再度調整しなおしてください。
- ・マイクロSDカード内のファイルを、パソコン・スマートフォンなどにコピーし保存してください。ファイルの破損時や市販のSDカード使用時にパソコン・スマートフォンなどからコピーしてください。
- ・万が一マイクロSDカードが破損した場合、データの復旧はできません。マイクロSDカードは消耗品です。長期間のデータ保存先としては、十分な媒体ではありません。必要なデータ(証拠映像など)は他の記録媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。

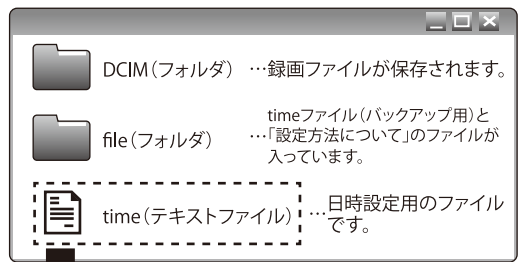
●取付け前に、本機の機能や日時設定が、正常に動作しているか、ご確認ください。

① 付属のマイクロSDカードをパソコンまたはスマートフォン・タブレット※1に接続してください。



② 付属のマイクロSDカードには出荷時に右記のフォルダおよびファイルが入っています。

※file(フォルダ)をパソコン・スマートフォンなどにコピーして保存してください。ファイルの破損時や市販のSDカード使用時にパソコン・スマートフォンなどからコピーしてください。

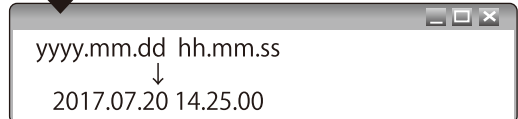


③ timeファイルを開いてください。マイクロSDカードを本体に差し込み、最初に本体を動作させる予定の日時を入力してください。

入力完了後、上書き保存してください。

※数字および点(.)は全て半角にして、日と時の間(右の例では20と14の間)は半角スペースで区切ってください。

※日と時の間(右の例では20と14の間)および秒(右の例では00)の後に点(.)は不要です。



(例) 2017年7月20日 14時25分00秒の場合

④ マイクロSDカードを、本体にセットし設定した日時に電源を入れると自動で設定が完了し、時計がスタートします。一度日時設定が完了すると、約1ヶ月間電源のOFF状態が継続された場合でも、設定した日時は記憶しているため、再設定は不要です。

※ご購入後、電源のON状態が1日以上必要です。

※1 スマートフォン・タブレットで日時設定を行う場合、市販のカードリーダーが必要です。下記推奨製品は、当社で日時設定の動作を確認したカードリーダーであり、全ての機種において動作を保証するものではありません。カードリーダーの使用法は、カードリーダーの取扱説明書をご確認ください。カードリーダーに関するお問い合わせ・サポートは受け付けておりません。

■カードリーダー

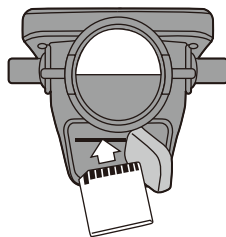
スマートフォン・タブレット	推奨メーカー	推奨品番
Android	サンワサプライ	400-GADR002W
iPhone・iPad	サンワサプライ	400-ADRIP08S3 400-ADRIP08BK3

※サンワサプライ株式会社製品の最新の生産情報につきましては、サンワサプライホームページをご覧ください。上記カードリーダー以外の製品においては、日時設定ができない製品もあります。よくご確認の上ご購入ください。

11. SDカードの挿入

録画日時を設定したマイクロSDカードを、マイクロSDカードアダプターに差し込んでください。

本体底部のマイクロSDカードスロットカバーを開き、アダプターに差し込んだ、マイクロSDカードをSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。(アダプターの端子がセンサー側となる向きで差し込んでください)
※SDカードを差し込む時、向きを間違わないよう注意してください。



12. ライト点灯モードの選択

モード切替えスイッチで、ライト点灯モードが選択できます。
※録画は、センサーが探知するとライト点灯モードやツマミ調整に関係なく、開始します。

① **切** 常時点灯 切

周囲が暗くなると、センサーで探知してライトが点灯します。

② **OFF**

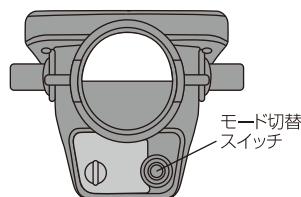
全ての動作が停止します。SDカードを取り出すときに使用します。

③ **入** 10%常時点灯 入

点灯ツマミと連動し、10%の明るさで常時点灯します。

・点灯ツマミが「昼」の場合…周囲が明るいときも、常夜灯点灯します。

・点灯ツマミが「夜」の場合…周囲が暗くなると自動で常夜灯点灯し、周囲が明るくなると自動で消灯します。
センサー探知すると、100%の明るさで点灯します。

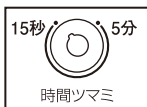


13. センサーの動作テスト

- ・時間ツマミを「15秒」に回す
- ・点灯ツマミを「昼」に回す



点灯ツマミ



時間ツマミ

- ・「**切**」で電源を入れる

点灯 ▶ 消灯

初期動作安定のため、約5～30秒後に消灯します。

※点灯中は、探知範囲に入らないでください。
※製品・設定により、点灯時間が異なる場合があります。

- ・センサー探知範囲に入り、すぐに出る

点灯 ▶ 消灯

約15秒後に消灯

注意 点灯、消灯しない時は“21.故障かなと思った時”を参照してください。

14. センサーをお好みのモードに調整

①(点灯)明かりセンサー調整

「昼」周囲が明るくても暗くても点灯・「夜」周囲が暗い時のみ点灯

- 点灯させる周りの明るさ調整は図1のようにつまみを「昼」～「夜」に回すことで、点灯を調整することができます。
- ※夜でも他の照明の光が当たる時は昼側に調整します。
- ※実際に点灯させたい明るさの時に調整してください。
- ※録画は、センサーが探知すると昼夜関係なく開始します。



②(時間)タイマー点灯保持時間調整 約15秒～約5分

- 点灯時間の調整は、時間つまみを図2のように右へ少しずつ回し、その都度点灯時間を確認し、調整してください。
- ※つまみ角度は時間と比例しません。
- ※センサーの探知範囲に入り、点灯を確認後すぐに探知範囲外へ出てください。
- ※探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。



重要!

■時間調整について

時間つまみは、ライトの点灯時間の調整です。録画時間と同じではありません。

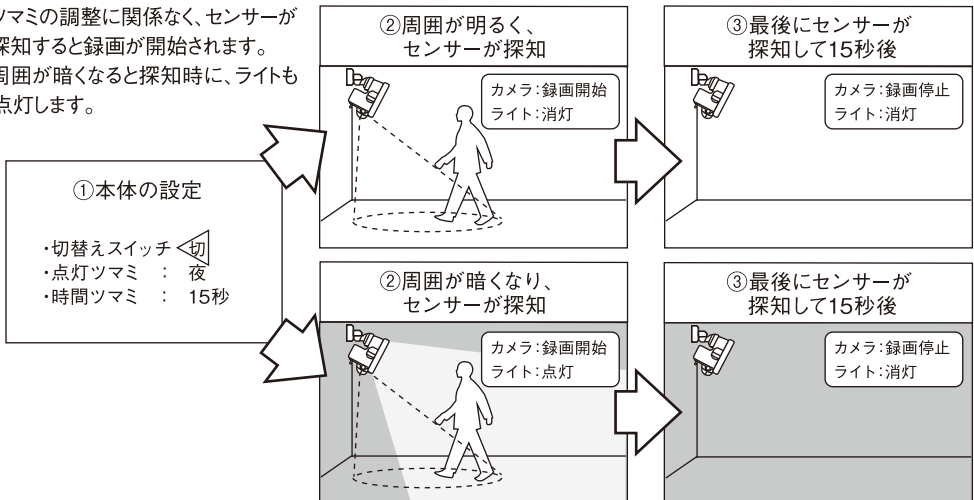
例:時間調節が5分の場合



15. 動作例

◀切の場合

つまみの調整に関係なく、センサーが探知すると録画が開始されます。周囲が暗くなると探知時に、ライトも点灯します。



入の場合

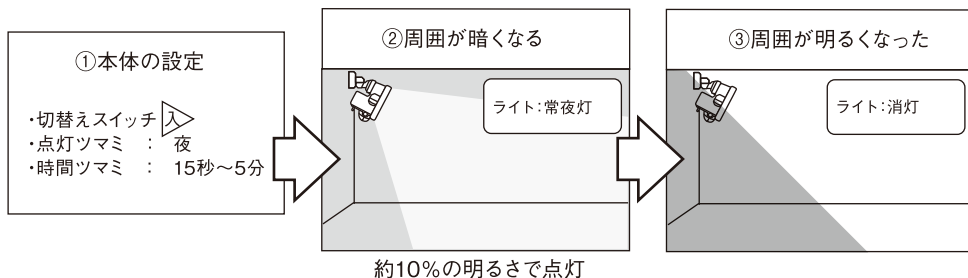
ツマミの調整に関係なく、センサーが探知すると録画が開始されます。

■センサーが探知しない場合

周囲が暗くなると、自動で常夜灯(明るさ約10%)が点灯します。

周囲が明るくなると、自動で常夜灯は消灯します。

※点灯ツマミを昼に設定している場合、周囲の明るさに関係なく、常夜灯が点灯します。



■センサーが探知する場合

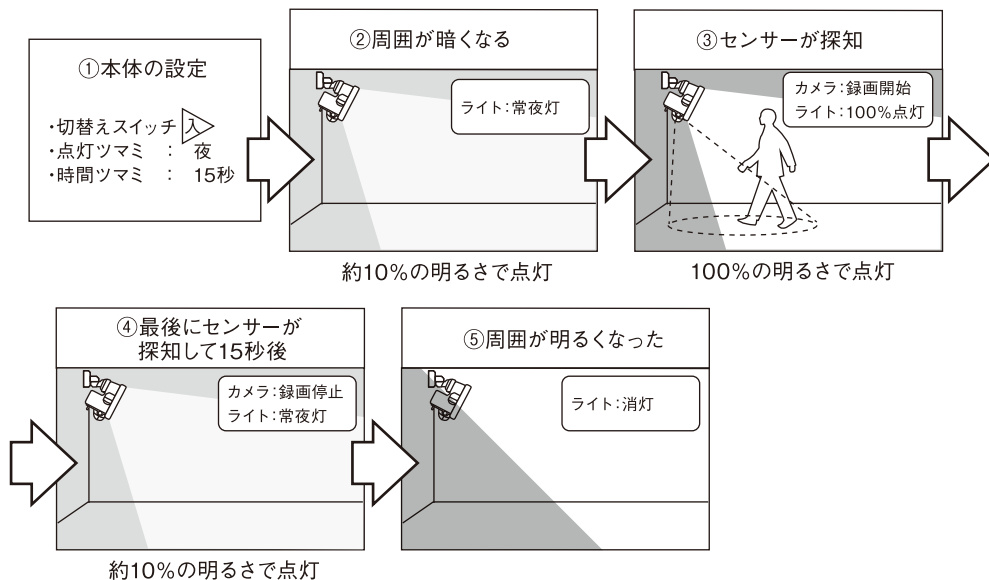
周囲が暗くなると、自動で常夜灯(明るさ約10%)が点灯します。

センサーが探知すると、ライトが100%の明るさで点灯し、録画が開始されます。

録画停止し時間ツマミの時間になると、自動で常夜灯(明るさ約10%)に戻ります。

周囲が明るくなると、自動で常夜灯は消灯します。

※点灯ツマミを昼に設定している場合、周囲の明るさに関係なく、常夜灯が点灯します。

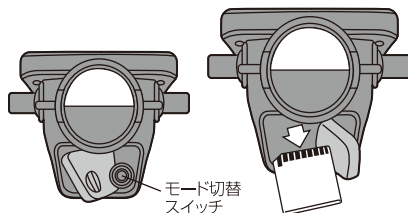


16. 録画した動画の確認

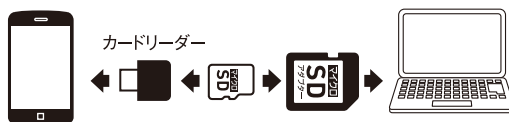
⚠ 注意

- 録画ファイル容量は、撮影内容や時間帯によって、大きく変化します。
- マイクロSDカードの空き容量がなくなった場合、録画されている日付の古いファイルから削除して上書きします。マイクロSDカードの容量がなくなることはありません。
- 日付の古いファイルから順番に削除されます。
- マイクロSDカードを脱着するときは、脚立などを使用し安全に作業を行ってください。

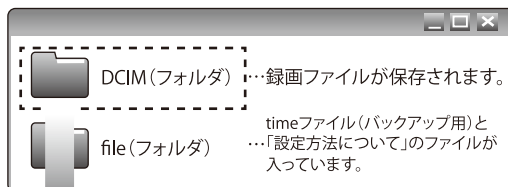
- ①モード切替スイッチをOFFにします。
本体底部のSDカードスロットカバーを開き、SDカードを奥に押し、手前にSDカードアダプターが出てきたら取り外してください。
※OFFにせずSDカードを取り外した場合、保存したファイルが破壊し、再生できない場合があります。



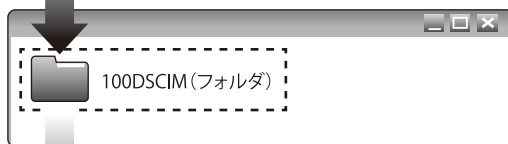
- ②付属のマイクロSDカードをパソコンまたはスマートフォン・タブレット※1に接続してください。



- ③マイクロSDカード内のDCIMフォルダを開きます。



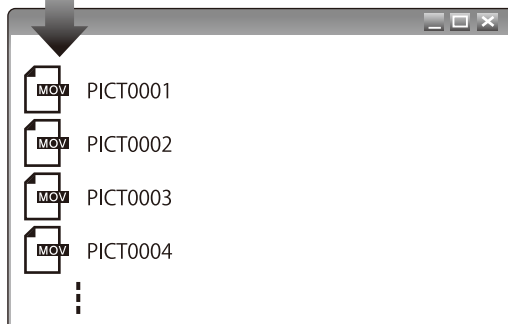
- ④100DSCIMフォルダを開きます。



- ⑤撮影した録画ファイルが保存されています。ファイル名は自動で入力され、次のファイルが作成されると、末尾の数字が1つ増えます。
※自動で入力されるファイル名は、指定できません。

保存されるファイルは、最大60秒までです。連続で3分間録画した場合、60秒の録画ファイルが、3個保存されます。

- ⑥録画ファイルを再生し、表示されている日時を確認してください。



※防犯上の録画は、録画ファイルの日时表示が重要な場合があります。定期的な日時を確認し、常に正しい日時で使用してください。

⑦実際の日時とずれていた場合、下記手順で日時を再設定してください。

「10.録画日時の設定」で上書き保存したtimeファイルは、マイクロSDカードを本体に差込んで、日時設定完了後自動で削除されます。

- (a) fileフォルダ内部のtimeファイルをコピーしてDCIMおよびfileフォルダのあるウィンドウ上に貼付けます。
- (b) 上記(a)でコピーしたtimeファイルを開き、「10.録画日時の設定」③と同じ要領で日時を再度入力して上書き保存してください。

※モード切替スイッチをOFFにしてSDカードを抜いた場合、日時設定は保持されます。
ただし、電源プラグをコンセントから抜いた場合、日時設定の再調整を必ず行ってください。
(設定日時データずれ防止のため)

(スマートフォン・タブレットで録画ファイルを再生する場合)
スマートフォン・タブレットで録画ファイルを再生する場合、日時設定で使用したカードリーダー※1が必要です。

スマートフォン・タブレット	推奨メーカー	推奨品番
Android	サンワサプライ	400-GADRO02W
iPhone・iPad	サンワサプライ	400-ADRIP08S3 400-ADRIP08BK3

(テレビで録画ファイルを再生する場合)

テレビにSDカード挿入口がある場合、直接SDカードを差し込んでも再生できません。

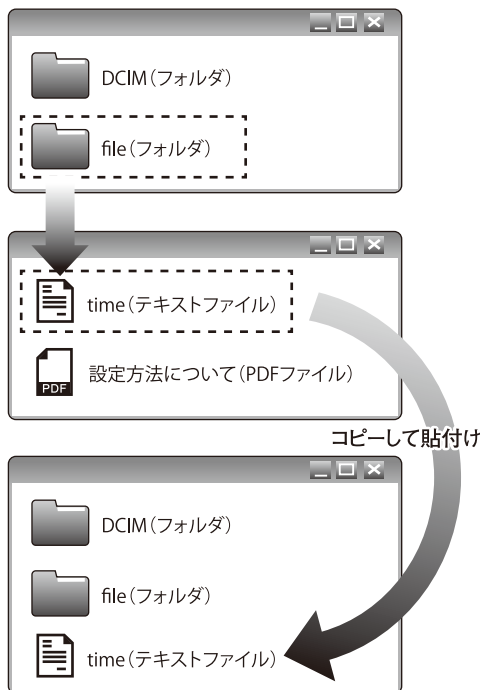
テレビで録画ファイルを再生する場合、下記推奨メディアプレーヤー※1が必要です。

推奨メーカー	推奨品番
サンワサプライ	400-MEDI001

- ※1 サンワサプライ株式会社製品の最新の生産情報につきましては、サンワサプライホームページをご覧ください。
記載の推奨製品は、当社で日時設定の動作を確認したカードリーダーであり、全ての機種において動作を保証するものではありません。カードリーダーおよびメディアプレーヤーに関するお問い合わせ・サポートは受け付けておりません。
- ※2 付属のマイクロSDカード内部のtimeファイルが万一消失した場合、または市販の新しいSDカードに変更する場合は、下記手順でSDカード内にtimeファイルを作成してください。
①パソコンまたはスマートフォンに接続し、「10.録画日時の設定」で保存しているファイルをコピーしてください。
②パソコンで、SDカード内にテキストドキュメントを新規作成してください。
ファイル名は、半角アルファベット小文字で「time」としてください。

time.txt
「ファイル名」 「拡張子」

- ※3 万一がマイクロSDカードが破損した場合、データの復旧はできません。
マイクロSDカードは消耗品です。長期間のデータ保存先としては、十分な媒体ではありません。
必要なデータ(証拠映像など)は他の記録媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。
- ※4 再生ソフトによって、動画再生中のノイズが大きい場合がありますが、異常ではありません。
- ※5 マイクロSDカードは、環境条件(温度や湿度)により寿命が左右されます。正常に録画できなかったり、パソコンで認識できなくなった場合は、新しいマイクロSDカードと交換してください。
- ※6 付属のマイクロSDカード 8GB の録画時間の目安は、約1.5時間です。



17. 本体の取付け方

壁に直接ネジで取付け

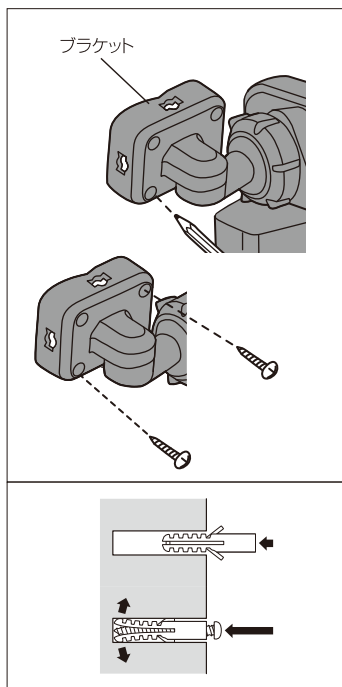
- ・キリ、鉛筆等をブラケットの穴に通し、壁等に印を2ヶ所付けます。

(アルミ板、薄鉄板の場合は)
印に電気ドリル等で $\phi 3.3\text{mm}$ の穴を開けます。

(木の場合は)
印に電気ドリル等で $\phi 3\text{mm}$ の穴をあけます。

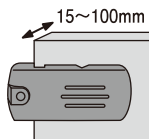
- ・付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
※ブラケット穴は4個ありますが対角の2個の穴を2本のネジで取付けます。

(コンクリートの壁の場合)
振動電気ドリル等で $\phi 6\text{mm}$ の穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。
付属の2本の取付けネジでブラケットを取付けます。

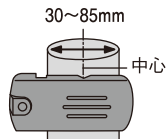


クランプ台で挟む取付け方

⚠ 注意 クランプ台での取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。



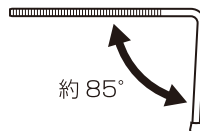
角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。



丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

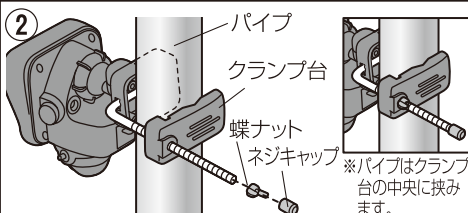
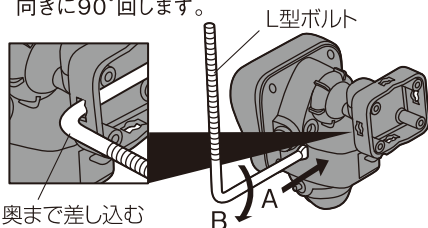
L型ボルトの形状

※クランプ台で挟み込む力を最大限に生かす為、L型ボルトは90度ではなく約85度の角度に曲げています。



縦向きの柱、パイプの場合

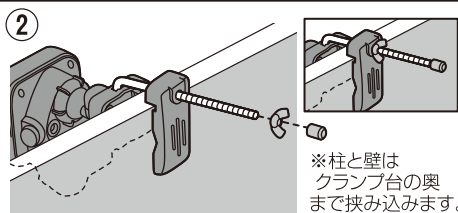
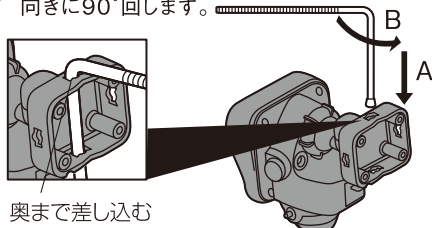
- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。



L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

横向きの柱の場合

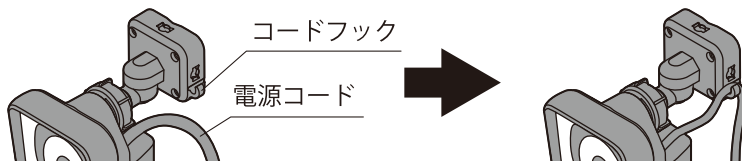
- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。



L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

コードフックの使い方

- 電源コードをコードフックに引っ掛けます。



(別売) SP-7 ステンレスバンドでの取付け方

本機には、ステンレスバンドが付属されておりません。ステンレスバンドで取付ける場合、別途ご購入ください。

○推奨ステンレスバンド

[品番 SP-7] RITEX センサーライト用ステンレスバンド

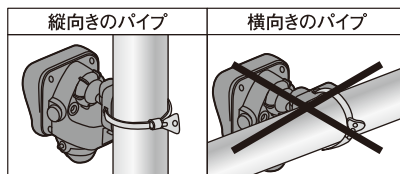
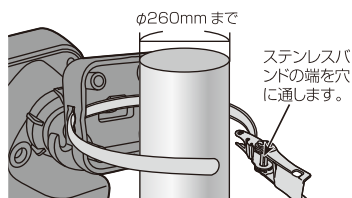
¥1,400(消費税・送料込み)

なお、入手困難な場合は直接弊社にご注文いただければお送り致します。

※ただし、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。代金お支払い手数料は、お客様負担でお願いします。

- △ 注意** ・ステンレスバンドでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
 ・ステンレスバンドを使用する柱には傷つく場合があります。

- ① ステンレスバンドを本体後部の穴に通して、柱、パイプに巻きつけます。
 ② 丸いパイプに取付けの場合、縦向きのパイプには取付けできますが、横向きの丸パイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるので、取付けないでください。



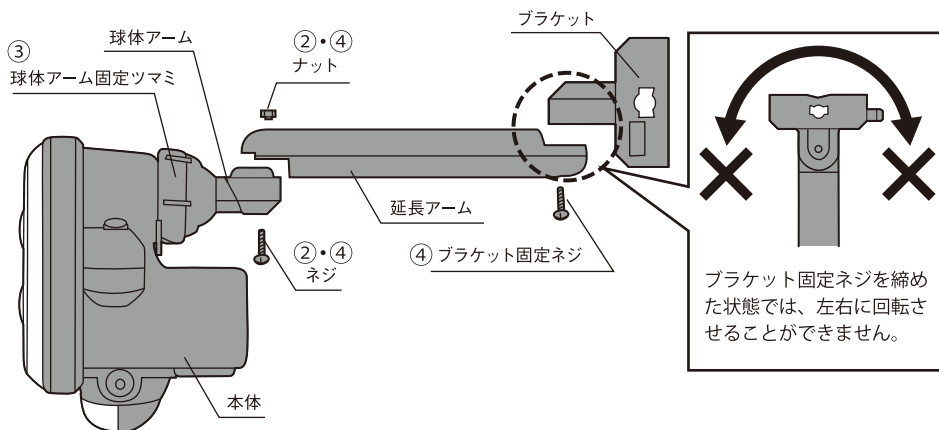
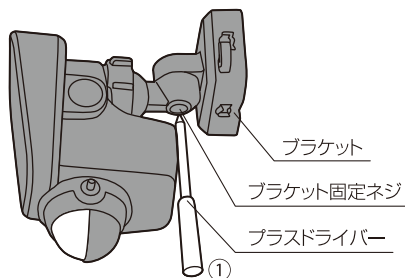
延長アームを使用した場合の取付け方

付属の延長アームを取付けることで、向きたい方向が増えます。

■延長アームの取り付け方

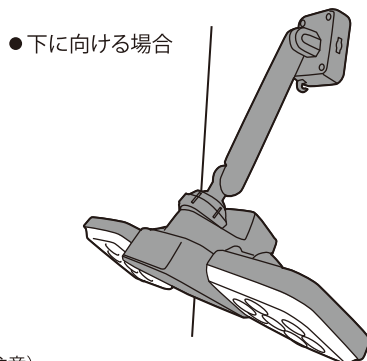
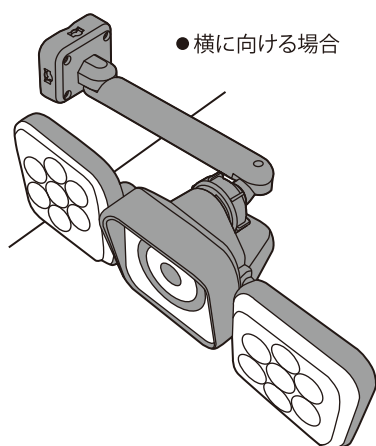
- ① ブラケット固定ネジをプラスドライバーで外します。
- ② 延長アームのネジ・ナットをプラスドライバーで外します。
- ③ 球体アーム固定ツマミを緩め、向きたい方向を決めます。
- ④ 下図を参照し、球体アームとブラケットの間に延長アームを取付けます。

(注意) ブラケットと延長アームは、接続後に向きの調整はできません。
向きたい方向に向けてから、接続してください。



- ⑤ ネジと球体アーム固定ツマミを締めて、しっかりと固定します。

設置例



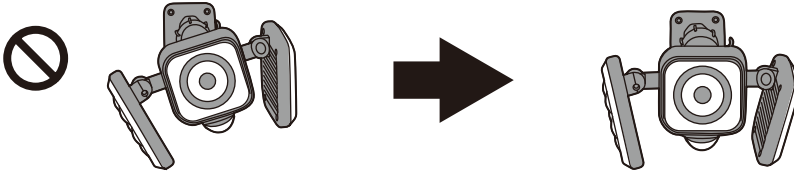
(注意)

- ブラケットを 90° 回転させてください。
- 水がかかる場所で、45° 以上、下に向けてると、本体内部に水が浸入する場合があります。

設置後の本体位置の確認

・本体が正面から見て傾いているとセンサーが誤作動します。

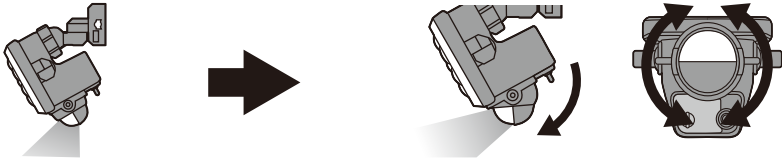
・正面から見て地面と水平にします。



センサー位置の確認

・センサーが下に向き過ぎていると探知距離が短くなります。

・センサーを探知したい方向に向けます。



18. センサー探知の確認

- ・時間ツマミを「15秒」に回す
- ・点灯ツマミを「昼」に回す



- ・「切」で電源を入れる

点灯 ▶ 消灯

初期動作安定のため、
約5～30秒後に消灯します。

※点灯中は、探知範囲に入らないでください。
※製品・設定により、点灯時間が異なる場合があります。

- ・センサー探知範囲に入り、すぐに出る

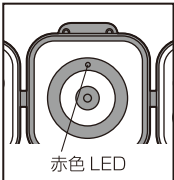
点灯 ▶ 消灯

約15秒後に消灯

19. 状態表示赤色LEDについて

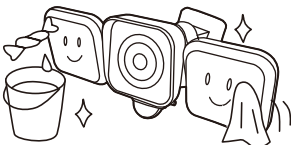
センサーレンズ付の赤色LEDで本機の状態を確認します。

※赤色LEDは微かな明るさです。周囲が暗くなってから確認してください。



●	●	○	☀
① 常時点灯	② 1秒に1回点滅	③ 点灯しない	④ 高速に点滅
電源が入っています。 正常な待機状態です。	センサーが探知→ライトが点 灯し、同時に録画が開始します。 ※点灯ツマミと周囲の明るさ によっては、ライトは点灯しません。	電源が入っていません。 電源OFFです。	SDカードがセットされていません。 撮影した動画を保存する場合、 SDカードをセットしてください。

20. お手入れの仕方



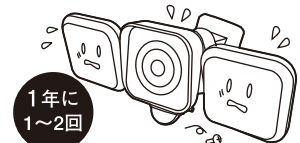
本体は中性洗剤をふくませた布
で拭いた後、乾いた柔らかい布
で中性洗剤が残らないよう、よく
拭きとります。



禁止





本体をベンジンやシンナーや研
磨剤で拭いたり、殺虫剤をかけ
ないでください。ひび割れ、引
火、感電のおそれがあります。



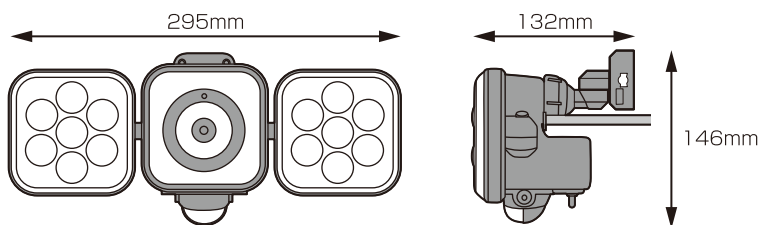
本体の取付けネジやクランプは
年に1～2回ゆるみやガタつき
がないか点検してください。

※本機は防水構造ではありません、散水ホース等での水洗いはしないでください。
故障や引火感電のおそれがあります。

21. 故障かなと思った時

現象	考えられる原因	処置
点灯しない (赤色LEDが点灯しない)	電源が入っていない。	電源プラグが抜けていないか確認する。(家庭用コンセントに差す。)
点灯しない 探知範囲に人がいるのに点灯しない。 (常時点灯)	本機に向かって真っすぐ接近している。	探知範囲を調節する。 センサーの方向を調整する。
	探知部(センサーレンズ)が汚れている、蒸気や雨などの水滴が付いている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われている、手袋をしている。 ----- 外気温が32℃以上ある。	本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記の場合探知しにくい場合がある。
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない。	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯ツマミを「昼」側に点灯するまで回す。 “14.①(点灯)明かりセンサー調整”参照。
消灯しない	時間ツマミが「5分」側に調節されている。	時間ツマミを「15秒」側に合わせる。“14.②(時間)タイマー点灯保持時間調整”参照。
消灯しない (赤色LEDが点滅する)	探知範囲内に人がいる。 時間が延長され消灯しない。	探知範囲外に移動する。
消灯しない	回路が異常(エラー)状態にある。	切替スイッチでOFFにしてから、電源プラグを抜き2分後再び差す。(リセットして回路を正常状態に戻す。)
昼なのに点灯する 周囲が明るいのに	点灯ツマミが「昼」側に調節されている。	点灯ツマミを「夜」側に回す。“14.①(点灯)明かりセンサー調整”参照。
探知範囲に 人がいないのに 点灯する (赤色LEDが点滅する)	探知範囲内に誤動作源がある。 (例) ・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などの動物 ・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) “2.取付け前の注意”参照。	誤動作源を取り除く。(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する。)
	探知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを感知している。	探知範囲を規制する。“9.センサーの探知範囲とカメラの撮影範囲”参照。
	本機のLEDライトがセンサー部を照らしている。	LEDライトをセンサーから離す。
探知範囲に 人がいるのに 消灯する	電源を投入した直後(停電から復帰直後)	電源投入時の初期動作を行っている。“13.センサーの動作テスト”参照。
	時間ツマミが「15秒」側に調節されている。	時間(タイマー)ツマミを「5分」側に設定する。 “14.②(時間)タイマー点灯保持時間調整”参照。
	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人には性能上探知できません。
録画できない	モード切替スイッチがOFFに設定されている。	モード切替スイッチを「  切」または「  入」に設定してください。
	SDカードがセットされていない。 または、SDカードが正常にセットされていない。	SDカードを正常にセットしてください。 “11.SDカードの挿入”参照。
	SDカードが壊れている。	新しいSDカードをセットしてください。

22. サイズ



23. 録画時間の目安

SDHCカードで可能な録画時間は、下表をご参照ください。
撮影内容や時間帯によって、録画ファイルのサイズは大きく変化します。
録画時間は、目安としてください。

SDHCカード	8GB	16GB	32GB
録画時間	1.5時間	3時間	6時間

24. 仕 様

電 球	8W×2高輝度白色LED(設計寿命約4万時間) ※1 全光束約1500ルーメン	
電 源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	18W(待機時3.0W以下)	
センサー	探知方式	焦電型赤外線センサー
	探知範囲	約140° 最遠約8m
点灯時間設定	約15秒～約5分	
点灯切替機能	昼(周囲が明るくても暗くても点灯) 夜(周囲が暗い時のみ点灯)	
有効画素数	92万画素 HD(1280×720p)	
カメラ撮影範囲	水平約65° 最遠約6m (昼夜関係なくセンサーが反応すると撮影開始)	
画像ファイル形式	AVI(動画のみ・音声なし)	
録画時間	1ファイルあたり最大60秒 (探知時間が60秒を超えると、次のファイルを作成)	
記録媒体	SDHCカード 4GB～32GB対応 FAT32フォーマット	
付属カード	マイクロSDHCカード 8GB (マイクロSDカードアダプター付属) ※2 連続再生時間1.5時間記録可能 ※3 (60秒動画データ×90回分) ※連続使用でファイルは古い順に上書きされます	
常夜灯切替スイッチ	ON/OFF (通常点灯時の10%の明るさで毎夜くりかえす)	
サイズ(mm)	約 幅295mm×奥行132mm×高さ146mm	
重 量	約860g(クランプ・延長アーム除く)	
電源コードの長さ	約3m	
クランプ取付サイズ	・厚み/最小約15mm～最大約100mm ・パイプ径/最小約30mm～最大約85mm	
設置場所	屋内・屋外用(防雨タイプ IP44)	

※1 LED球は交換できません。

LED球の寿命は設計寿命であり、製品寿命を保証するものではありません。

LED素子にはバラツキがあるため、同じ品番のセンサーライトでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※2 マイクロSDカード→SDカード変換アダプターです。

※3 撮影内容や時間帯によって、録画ファイルのサイズは大きく変化します。

